

ふるさと歴史散歩

〔第179回〕 松崎八幡宮と総社の争論 その四



『古事記』と『日本書紀』にいう神武天皇が東征途中、安藝國に立ち寄った「多祁理宮」と「埃宮」は、江戸時代の国学者たちによって多家神社の「異名同所」とされ、府中村にあるとされたことから、村内にあった古くから由緒ある総社と八幡社との間で、多家社は「うちの方だ、いや、こっちだ」と共に主張して譲らず争いとなった。

宝暦二年（1752）に「誤り証文」事件が発生する。

この証文は八幡社の神主三宅から提出されたもので、かねてから惣社は八幡社の御旅所（神霊を一時的安置場所）で大吞は神官でなく宮守であるとして主張していたが、それを示すような三十年前の証文が出て来た。

それは惣社宮守大吞左膳より八幡社神主三宅伊予守宛の証文に「宮守」とあるから神主でないとの主張に対して、

大吞は三宅が村役人と結託して作った偽証文と譲らず解決しなかった。

このあと大吞は神道宗家の吉田家を離脱して白川家の門弟となり、神主裁許状及び「多家大明神」の額、衣冠を得ており、八幡社（三宅）と惣社（大吞）の対立の背後に吉田家と白川家の対立と拡大し、さらに、藩府の神社対策も問われる争論になった。

藩府の裁定は、諸旧記に、惣社は厳島社附属の神社と見えるので八幡社の御旅所とは認められない。厳島神社附属の惣社社人を三宅が支配すべきでない。白川家裁許状の宛名に「惣社神主」とあるのは承知できないし、「多家」の額は許可しない。また位階に相当しない衣冠の着用禁止は、「公儀之御触書」（幕府の法律）の規定の通りであると裁決した。これ以外に代官は、八幡社内「たけい社」を安芸三

社の一つと唱えることは「惣社」の神号を打ち消し、惣社を奪う悪行を犯す結果となる。この件が大きくなり長引いた原因は大吞の先祖が神号を明確に把握してなかったことによる。厳島社附属の惣社が八幡社に詫言証文を出すのは失態である。また田所家は旧例に戻って惣社・八幡社両方の祭祀神事に努めるべきである。その後寛政三年（1791）の裁決は、八幡社が多家神社・たけい社などと唱えることを停止するということであった。しかし、これが最終裁決にならなかった。



「両社差違一件綴」の内容の一部 野間文雄氏蔵

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭

朝パッ君ネットワークおすすめレシピを紹介



レシピ提供 府中緑ヶ丘中学校
健康推進課 ☎286-3257

朝パッ君 レシピ

トック

朝鮮半島でよく食べられている雑煮です。卵を流し入れて、さらにおいしい！

材料(4人分)

鶏肉(細切れ)	40g
にんじん(短冊切り)	40g
もやし(ざく切り)	80g
豆腐(さいの目)	50g
トック(朝鮮半島の餅)	80g
カットわかめ(戻す)	3g
たまご(溶く)	1個
ねぎ(小口切り)	20g
水	650cc
固形コンソメ	1個
中華だし	4g
酒	小さじ1
塩	適量
コショウ	少々

作り方

- ①水を煮立てて固形コンソメ、中華だしを入れ溶かす。
- ②鶏肉・にんじん・もやしを入れ煮る。
- ③豆腐を入れ、煮えたらトックを入れる。
- ④③が煮えたらわかめ、卵を流し入れる。酒、塩、コショウで味を整える。
- ⑤ねぎを入れる。



かむ・COME
歯ッピー!!

5年目を迎えました
健康・食育「朝パッ君ネットワーク」



健康講座、食育体験などを通し、さまざまな世代との交流があり、みんな生き生きとしています!!